

鬼 だ	北上市立	館 より
	の	
第14号		



～記念品を受けとる吉川さん～



30万人達成!!

平成12年11月4日、この日鬼の館では30万人目のお客様をお迎えしました。

平成6年6月1日の開館から2349日目。30万人目となられたのは、川口市からおいでの
きっかわりえ
 吉川梨絵さんで、以前来館したことのあるお父様のご案内によるものでした。梨絵さんは
 突然のことに驚いたようでしたが、「福が訪れたみたいです。」と喜んでおられました。

平成13年度の催し

～事業計画～

《第14回企画展》

宗形 ^{さとし} 慧 写真展 ～鬼神のころ～
5月20日(日)～7月8日(日)

日本の民俗芸能や、民俗風習に登場する鬼神の精神構造を追いかけ、映像におさめ表現している埼玉在住の写真芸術家・宗形 慧氏の作品をご覧ください。

それぞれの心の中にある“鬼”とは何かを追求する機会とするものです。



《第15回企画展》

エミシ展 ～北の鬼の復権～
10月7日(日)～11月25日(日)



その昔、中央政府は、東北の民族を“鬼”とすることで戦を正当化してきました。

“いわれなくして鬼とされた”いわての民族の歴史を、現存する資料を展示公開することで考えようとするものです。

◎鬼学講座

全6回講座。移動研修あり。
～鬼の源流を求めて～をメインテーマとした成人向けの講座です。申し込み制です。



◎鬼っこわんぱく講座

全9回講座。鬼っこ合宿あり。
創作活動・体験活動からなる小学生向けの講座です。申し込み制です。5月5日の「こどもの日・わくわくイベント」は参加自由です。

◎鬼の館の芸能公演

4月から11月・3月の第4日曜日と5/4の連休公演・8/12のお盆公演の11回公演です。いずれも、午後1時30分から野外ステージにて行われます。

5～7演目の見応えのある内容に詳しい解説付です。観覧無料。



◎第8回大乘神楽大会

6月10日(日)
10時開演 鬼の館 特設ステージ
市内9団体、市外1団体が出演予定です。
観覧無料。

◎特別展

- ・収蔵資料展 ー神々の仮面ー
7月22日(日)～9月16日(日)
- ・市民の心のたからもの展
12月11日(火)～平成14年2月24日(日)

新資料から

スリランカの仮面

—マハカーラ・サンニヤー—

面長 86.5cm×最大幅62.8cm

寄贈者 尚綱女学院短期大学

助教授 アン・トーマス氏

アン氏は、宮城県在住のアメリカ人で尚綱女学院短期大学において英文科の助教授として教鞭をとる一方、日本や世界の人類民族学を自己の研究テーマとして各国の風俗儀礼を調査し、研究している活動的な女性の方です。

寄贈を受けた資料は、スリランカのヒンドゥー仏教系信仰の儀式に使用される仮面34点で、大別するとコーランマスクのような舞踏劇面、サンニーマスクのような呪術儀式面、ラクシャマスクに代表されるような宗教的カーニバル面等の三つの用途に分類される資料で占められています。

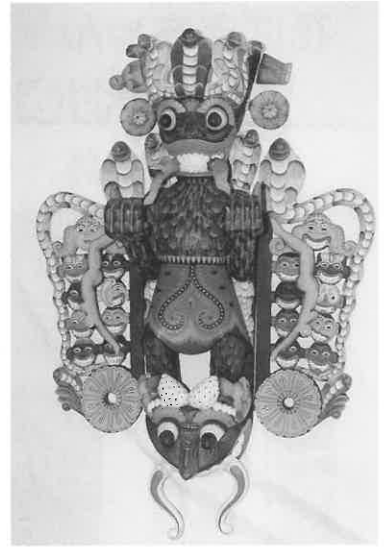
材質は、カドレー材やナックス・ボミカという軽量の木材から作り出されていて細工が綿密で、色彩豊かなものです。

当資料は、資料的にも価値があるもので、現在でも同等のものがスリランカ国内で使用されており、さらに制作者や制作年代・使用用途等がすべ

てアン氏によって調査されているために博物館資料としては一級品の資料であると言えます。

写真は、“マハカーラ・サンニヤー”と呼ばれる呪術的儀式に使用される仮面であり、“主格病魔神”です。この病魔神は悪魔を人格化したもので、病気の人の体から病魔を追い出す際に使用される“仏陀神”であり、仮面には18の病気を引き起こす18種類の悪魔が描かれています。仮面中央に表現されるものは復讐の王子マハコーラであり、蛇の王冠を被り、下端に死者を貧る悪魔である“ガラ・ヤカ”が表現され、さらにその周囲に18の病魔が取り付けられています。

この仮面は、仏陀だけが復讐の王子の怒りと破壊を止め、スリランカの人々に平和と癒しをもたらすものとして信じられ祀られる“神”の仮面です。



平成12年度（下半期）の新収集資料

〔寄贈資料〕

・ワールド民俗行事カレンダー	1点	江刺市	荻田 耕造 様
・不動明王座像（木造）	1点	北上市和賀町	小田島 勲 様
・スリランカ儀礼仮面	34点	仙台市	Anne Tohomas 様
・図書資料	102点	盛岡市	力丸 光雄 様
・うちわ（一勇斎国芳画）	1点	北上市滑田	佐藤 雅紀 様

〔寄託資料〕

・世界の仮面	98点	盛岡市	力丸 光雄 様
--------	-----	-----	---------

〔購入資料〕

・錦 絵 一勇斎国芳 画	程義経恋源一代鏡		1枚
・錦 絵 歌川廣兼 画	江戸名所道外盡（江戸末期）		1枚
・錦 絵 歌川芳虎 画	奥州大城戸落城の図（江戸末期）	3枚組	1式
・陶器 三浦繁久 作	短頸長胴型一輪ざし		1点
・陶器 三浦繁久 作	相耳型盃浅鉢		1点
・錦 絵 歌川芳虎 画	衣川城合戦之図	3枚組	1式
・錦 絵 歌川豊国 画	八幡太郎義家		1枚

花ばあちゃん

全国善行表彰受賞

小田島 保子さん



花ばあちゃんこと小田島保子さんは、現在83歳になるおばあちゃんですが、これまで地域内の県道側縁部分の花壇や地域公民館に花を植え、ボランティア奉仕活動でもって地域の環境美化に貢献してきている方です。

この活動をこれまで続けて来ているため、現在では地域の方々も、おばあちゃんを訪れ、花の苗をいただいて各家庭の庭先に植えるなど、花を主体とした地域の環境美化は地域ぐるみとなり、地域を訪れる方々から評価を得るまでに至っています。

鬼の館でも平成6年の開館以来、館庭前の花壇、約360㎡とプランター70個に毎年花を植え、植栽管理までを行っていただいております。博物館としての環境美化に努めてきていただいております。お陰で4月から11月末まで、花が咲き乱れ、来館者の心を側面から和ませてくれています。

この度、おばあちゃんのこれらの功労が、社団法人日本善行会(会長 鈴木俊一・元東京都知事)に認められ、平成12年11月22日に明治神宮参集殿で行われた授賞式の会場で環境美化部門で表彰されることとなり授賞しました。

写真は、東京在住の息子さんとおばあちゃんです。

NEWS

インターネットで図録紹介

現在、鬼の館では、9点の図録・1点のCD-ROMを取り扱っています。これらの刊行物は、一般の書店に並ぶものではなく、その存在や内容等は、ご来館いただかない限り知ることはできませんでした。しかし、昨年7月よりインターネットにて、検索できるようになりました。鬼の館のほかにも、それぞれの博物館の特色溢れる図録が多数掲載されています。表紙写真・明解な内容解説もあり、見ているだけで楽しめることでしょう。ぜひ、アクセスしてみてください。

図録検索HPアドレス <http://www.zuroku.net>

企画展図録

『鬼と鉄』

掛け図の中に描かれている
三宝荒神と
鬼たち。

鬼と鉄との
かかわりとは
.....



1部1,000円(税込み)にて発売中



今年の「福豆節分会」は20年ぶりの大雪と言われる中で、盛会に開催されました。

今年は「遊鬼まつり実行委員会（旧鬼ッズフェスティバル実行委員会）」と共催という昨年よりも盛り沢山で、中身の濃いものになりました。冬場になってから久し振りの大にぎわいに、ちょっと感動したのです。当館は冬になると陸の孤島です。まったくもって、北の天気はうらめしくてしょうがない。毎年冬が来なければいいのと思うのは厳しい北国の本音です。そして、そんな冬も楽しまねばならないのも北国の性というもので、スタッフはもちろん宮城から来た飛び入りの外人さんも一緒に冬の鬼まつりを大に楽しんだのです。



雪が舞う野外ステージ、夏油濁流太鼓で景気を付けて門屋館長の挨拶により開会です。その後すぐに岩崎城内太鼓で盛り上げて、オニオンくんとキャロットちゃんとジャンケン

ゲーム大会（景品・お菓子付）・福もち4ヶプラス一千個の餅まき・大声コンテスト・わんぱく講座受講生の鬼剣舞体験発表と閉講式・そして岩崎保育園・岩崎小・岩崎保存会による鬼剣舞公演、その後は恒例の副豆まき「福は内、鬼も内」でフィナーレです。

約3時間のイベントにはふるまい出店もいろいろ有り、どれもが開始そうそうから大にぎわいで、1時間もしないうちに売り切れ続出になるなど、協力して下さった皆さんも楽しいのを忘れるほど楽しいイベントとなりました。

来年はどんな内容になることや、喉元過ぎれば何とやら、全国の鬼が笑っていることでしょ。



できごと Oni Museum

～新聞の見出しより～

H12. 下半期

古代の鑄造品など展示

「鬼の館」7日から企画展「鬼と鉄」

〔岩手日日 10/5〕

あす芸能まわり舞台

〔岩手日日 10/7〕

「鍛冶神信仰」資料一堂に

企画展「鬼と鉄」始まる〔岩手日日 10/8〕

華やかな舞台を満喫〔岩手日日 10/9〕

入館者もうすぐ30万人

珍しい施設として人気

今年度上半期1万9千人余が利用

〔岩手日日 10/24〕

入館者30万人突破

6年5ヶ月で達成

吉川さん（埼玉）に記念品贈呈

〔岩手日日 11/5〕

市民の心のたから物展

展示作品を募集〔岩手日日 12/2〕

思い出詰まった“家宝”を一堂に

北上市「鬼の館」で特別展

川底から発見のマリア観音も

〔岩手日日 12/17〕

思い出深さは“国宝”クラス

北上・たからもの展〔岩手日報 12/18〕

技と心を習得

鬼の館で鬼剣舞体験講座

〔岩手日日 1/8〕

装い新たに「遊鬼まつり」

来月3、4日民間主体で新イベント

〔岩手日日 1/?〕

小さな旅・素敵な時

世界の鬼たちが勢揃い

〔岩日リビング 1/27〕

郷土愛をはぐくもう

えんで森学校 和紙で剣舞面作り

〔岩手日日 1/28〕

あすから「遊鬼まつり」

北上 鬼が幼稚園など訪問

〔岩手日日 2/2〕

北上・鬼の館であす節分会

〔岩手日日 2/3〕

やさしい鬼がやって来た

「遊鬼まつり」開幕〔岩手日日 2/4〕

「鬼は内、福は内」

鬼の館 にぎやかに節分会

〔岩手日日 2/6〕

鬼剣舞の練習成果披露

「鬼の館」わんぱく講座閉校式

〔岩手日日 2/8〕

スリランカの仮面 34点

北上「鬼の館」に贈る

尚綱短大のトーマスさん〔河北新報 2/22〕

スリランカ色鮮やかな仮面34点

宮城のアン・トーマス氏 鬼の館に贈る

ヒンズー教の祭礼用 6日から一般公開

〔岩手日日 3/1〕

未公開の150点余を紹介

今年度の収集資料6日から特別展示

〔岩手日日 3/4〕

仮面や錦絵など一堂に

未公開資料153点展示〔岩手日日 3/8〕

妙技に歓声と拍手

「鬼の館」の芸能公演 4ヶ月ぶり再開

〔岩手日日 3/26〕

必見 スリランカの仮面

2000年度収集資料展で公開

〔岩手日報 3/29〕

「一枚の葉書」から誕生した鬼の館

館長 門 屋 光 昭

「鬼の館」が誕生する何年も前の話である。そのころ、私は自分が鬼の末裔である、という確信があった。だから、「自分の内なる鬼」を考えているうちに、とうとう、岩手県立博物館の企画展「鬼・オニ・おに」(会期、昭和63年9月23日～10月23日)となった。11年間勤めた県立博物館の学芸員時代の終わりに近いころだった。

その直後から、旧和賀町では「鬼と平和の里づくり事業」を推進しはじめた。私は「一枚の葉書」を書いたことで、以後10年以上にわたってのめり込むことになった。町が募集した「ふるさと創生事業の町民のアイデア」へ応募したために。

平成元年、時の竹下登首相が提案した「ふるさと創生事業」は、1億円垂れ流し事業として決して評判は良くなかったが、全国の各市町村では創生事業の掘り起こしにそれなりに腐心していた。

後に合併して新北上市を作った旧北上市では、現代日本詩歌文学館にちなんで、正岡子規や寺山修司などの文学碑を市内各所に建立し、北上駅新幹線口には鬼剣舞広場をつくった。また、旧江釣子村では、蝦夷の群集墳として国史跡に指定されている江釣子古墳群の一隅に、古墳を復元してカムイヘチリコホの広場をつくった。

多くの市町村ではできるだけ独自性を発揮しようと検討委員会を組織してこの事業にあたった。旧和賀町も同様で、住民からアイデアを葉書で募集し、それをやはり住民代表による選考委員会で審議し、方向づけをする方法がとられた。

応募は196件に達した。最優秀賞金10万円がきいたようだ。審査は、第1次選考で24件、第2次選考で12件、第3次選考で6件に選ばれた。最終選考では、話題性、ロマン性、イメージアップ性、現実性など6項目を点数化して、その総合点で入選が決められた。

結果は最優秀賞に該当がなく、優秀賞3件が選ばれた。私の「鬼トピア・ワッカランド」は総合

点で3位だったそうだ。創生資金1億円では実現不可能とされ、実現性の点数が入らなかったからという。私は本気で10万円をもらうつもりだったから、優秀賞5万円に正直がっかりし、公務もあって表彰式には行かなかった。

だが、斎藤正憲町長ら三役や企画担当者はこのアイデアを面白がり、中核施設の「鬼の館」部分を採用、「鬼と平和の里づくり」として再生してくれた。後日、町長から聞いたところでは、複合した斬新なアイデアを葉書に縮小ワープロ文字でびっしりと刷り込んだ作戦がちで、募集は町民の夢を求めたのだから、審査会の論議が実現性にこだわったのは残念だった、ということだった。

その葉書には次のように書いた。

鬼トピア・ワッカランド

○主旨：「いきいき和賀町」の創生と活性のために、町の豊かな自然と人と歴史文化を掘り起こし、町民のほこりや向上心をわき立たせながら、その持つ意義や役割を岩手の和賀の里から全国に、また世界にアピールして行く。

○内容：鬼トピア・ワッカランドの建設と運営

1 主要施設

①中央施設として町域を形どったワッカランドの建設

②地区施設として各地区の特性を生かしたワッカランドの建設

2 ワッカランド 平和と鬼をテーマに老若男女が楽しみながら学べる複合施設。

①ふるさと館 歴史民俗資料室、手作りグッズ及び特産品の創作室と売店、レストラン、多目的ホールなど。

②鬼の館 世界の仮面百点、日本全国の鬼面千点、町民創作の鬼剣舞面千点、鬼像や鬼絵馬など鬼資料百点を収集展示。東北や和賀の鬼は悪魔を払い、人々に幸福をもたらすことを

アピール。

③民俗芸能伝承館 民俗芸能の里にふさわしい資料室、稽古場、室内ステージ・野外ステージなど。

④平和公園 大観音像と大噴水。

⑤子供の広場 遊園地、一緒に遊べるミニ動物園など。

3 コアランド いきいき和賀町をテーマに各地区の特性を生かし創作活動ができる地区創作館と資料室の併設施設。

①山口・岩沢・仙人地区 資料室は修験住宅伊沢家を山口小に移築し、修験・仙人・峠とサエの神などを中心とする。

②横川目・豎川目地区 安倍伝説地に貞任・馬などを中心に。

③後藤・藤根・長沼地区 旧和賀小に地区民が収集した民俗資料を中心に。

④煤孫・岩崎地区 岩崎城公園に考古資料を中心に。

⑤夏油温泉天狗館、全国の天狗面五百点収集。

4 桃源郷づくり

①主要道路の市町村境に、悪霊の侵入を防ぐ巨大ワラ人形を立てる（鹿島さま・道祖神・虫送り人形）。

②全戸に悪霊の侵入を防ぐ力を持つ桃の木を植え、桃の里をつくる。

5 その他

①鬼トピア祭典 全国の鬼大集合。

②鬼と平和のイメージビデオの制作。

③鬼グッズの製品化。

今読むと、大風呂敷過ぎて気恥ずかしい。容易には実現しがたい。だが、「鬼の館」は動き始めた。平成2年5月、「第1回鬼と平和の里づくり推進委員・幹事合同会議会」が開催、委員長に高橋富雄先生、副委員長兼幹事長に私が選ばれた。

高橋富雄先生は東北古代史学の泰斗で、『蝦夷』『日高見国』『奥州藤原四代』など一般向けの啓蒙書も多く、人気の高い歴史学者だった。当時、東北大学教授を退官され、盛岡大学文学部長（後に学長）と福島県立博物館長を勤めておられた。

出身が和賀町山口であったから、郷里のためにと、『和賀町史』の編集執筆を手がけられた。『和

賀町合併三十周年記念誌』では、私が司会した「座談会・和賀町を語る」で、和賀町を横断する平和街道（国道107号線。秋田県の旧平鹿郡横手と岩手県の旧和賀郡黒沢尻とを結ぶところから、両方の郡名の頭文字をとって名づけられた。）にちなみ、さらに「和賀町」を「我が町」と読み変えて、活性化事業「平和の町マイタウンづくり」を提唱しておられた。

私が選ばれたのは、「鬼」と「平和」という一見ミスマッチに思える取り合わせの、一方の当事者だったからである。また、委員の一人に力丸光雄先生がおられた。世界の仮面の収集家で、当時岩手医科大学教授だった。大村みつ子さん（わいわい塾代表）とともに、「3人のみっちゃん」コンビで展示委員会を構成し、実質的な展示プランを検討して行った。

こうして、平成3年4月に発足した新生の北上市が事業を継続して、平成6年6月に北上市立鬼の館が開館したのである。

開館直後の日曜日には泣き出す子が続出した。その一方で、なかなか去り難いようで「怖くない、もう一回見る」などと、入口を守る「津軽の鬼っこ」の前で、精一杯の虚勢をはっている子もいた。ナマハゲ（秋田県男鹿地方）、アマハゲ（山形県遊佐地方）、スネカ（岩手県気仙地方）、ナゴミ（同県閉伊地方）などの来訪神（春来る鬼）に泣き叫んだり、夕暮れどきに、アモンコ、モッコ、モウコなどと呼ぶ得体の知れない物怪（モノノケ、モッケ）に、おびえた青森や岩手の子どもたちの姿がよみがえってくる。

鬼は滅んで博物館入りしたと見るか。闇の世界でひそかに、あるいは辛うじて生き続けていると見るか。いや、「どっこい鬼は生きている」と私には思えてしかたがない。「やさしさ」ばかりが強調される昨今、鬼の雄叫びが欲しいのは私ばかりではあるまい、それが私の実感だった。

「あの高嶺 鬼すむ誇り／その瀬音 久遠の賛歌／この大地 燃えたついのち／ここは 北上」とは、新市が誕生した翌4年1月5日に制定された「北上市民憲章」である。鬼の館はその具体的な検証の場であり、同時に復権すべき北上の鬼・岩手の鬼・東北の鬼に関する情報の発信基地でもある。

鬼の里だより

◎企画・展示

- 10/7 第13回企画展 「鬼と鉄」 (～11/26)
 12/15 特別展 市民の心のたから物展 (～2/25)
 3/6 特別展 平成12年度収蔵資料展 (～5/6)

◎鬼学講座

- 10/27～28 移動研修 会津若松方面
 参加者23人
 「英雄たちの系譜」から
 講師：福島県立博物館
 副主任 学芸員 猪巻恵氏
 11/26 「女性からみた 安倍氏」 参加者24人
 講師：盛岡鬼の会

代表 大村みつ子氏

- 12/17 「掘り出された鬼」 参加者32人
 講師：鬼の館学芸員 鈴木明美氏

◎鬼っこわんぱく講座

- 1/7 鬼剣舞体験 参加者11人
 1/14 鬼剣舞体験 参加者10人
 1/21 鬼剣舞体験 参加者8人
 1/28 鬼剣舞体験 参加者10人
 2/4 鬼剣舞発表会 参加者10人 閉講式

◎芸能講演

- 10/22 滑田鬼剣舞
 11/26 滑田鬼剣舞
 3/25 二子鬼剣舞

入館状況

H12. 4. 1～H13. 3. 31 開館日数291日 単位：人

	個人	団体	無料	計
一般	13,468	5,816	5,783	25,067
高校生	159	26	39	224
小・中学生	1,688	379	1,680	3,747
計	15,315	6,221	7,502	29,038

利用案内

- 開館時間** 午前9時から午後5時まで。
 なお、入館は午後4時30分まで。
- 休館日**
- ・月曜日(国民の祝日の場合は開館)
 - ・国民の祝日の翌日(土・日・月曜日の場合は開館)
 - ・上記開館の振替日
 - ・館内整理日(11月27日～30日)
 - ・12月28日～1月4日まで

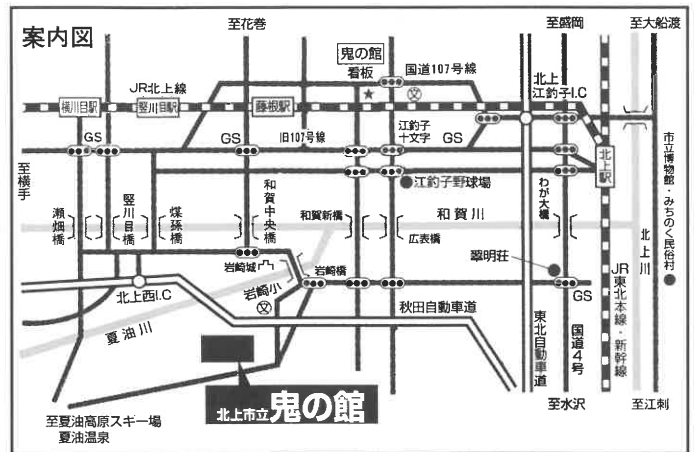
入館料

一般	300円 (250円)
高校生	200円 (150円)
小中学生	150円 (100円)

()内は20人以上の団体料金。
 下記の場合、市内小中学生は、
 入館料が免除になります。

交通案内

- ・第2・第4土曜日
- ・学習活動で申請利用
- ・JR北上駅西口よりバスで25分。煤孫
 経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」
 下車徒歩10分。
- ・JR北上駅より車で20分。
- ・東北自動車道北上江釣子I・C、秋田自
 動車道北上西I・Cからともに車で15分。



北上市立鬼の館だより

第14号 2001.3.31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
 TEL 0197 (73) 8488 FAX 0197 (73) 8508